

## 豊かな経済社会の実現と 政府の役割を考える

中野 英夫 教授

市場経済の中で、様々な公共サービスを提供する国や地方自治体など、政府の活動について研究を重ねています。日本は長期にわたる経済の低迷や少子化の進行など、多数の困難な問題に直面しています。多種多様な課題がある中で、豊かな経済社会の実現に向けて、政府はどのような解決策を見出していくべきなのか。財政、社会保障制度のあり方について一緒に考えましょう。



現

現

## 景気や格差に対する 経済政策の役割を分析する

奴田原 健悟 教授

日本経済のような、一国規模の経済現象を分析するマクロ経済学を専門にしています。とくに、景気循環や資産価格の変動、格差発生メカニズムの解明や、政府の経済政策の役割について分析しています。学生には、学問の内容理解はもちろん、自分の意見をデータを活用して客観的かつ論理的に、また他の人にわかりやすく伝えられる発表ができるようにも指導しています。



生

生

## よりよき貨幣のあり方を探る

坂口 明義 教授

私たちの経済生活に大きな影響を与える通貨や金融の問題を中心に、経済学を研究しています。講義やゼミナールでは、銀行・中央銀行の働きや通貨の供給・循環の仕組みといった基本的な知識を修得した上で、インフレ・デフレの問題、バブルと金融危機、通貨のデジタル化など時代に合ったテーマを取り上げ、それらの考察を通じて、よりよき貨幣のあり方を探っていきます。



先生に聞く、  
経済学の  
現在と  
これから

## 食・環境・ジェンダーについて 思想的に考察する

板井 広明 教授

現在の食料の大量生産システムは、環境的にも倫理的にも限界が来ています。フードロスが指摘される一方で、世界の栄養不足人口は8億人を超えています。ジェンダーによる、健康や所得の不平等も大きな問題となっています。このような世界でどうすれば、自由であることや平等であること、公正であることが可能となるのか、社会思想の観点から考えたいと思っています。



## 働く環境を 各国の比較から考える

岩佐 卓也 教授

人々は社会で働いていく中で、長時間労働・ストレスで身体を壊してしまう、仕事を掛け持ちして毎日働いても生活できる賃金がもらえない、などの問題に遭遇することがあります。その時どのように対応すればよいのか、またはそのような問題が起こらないようにするためにはどうすればよいのか。様々な国の具体的な現状と取り組みの事例などを比較しながら考えます。



国

国

## 開発途上国の経済社会の 現状と課題を考える

稲田 十一 教授

開発途上国の経済発展は、経済的要因ばかりでなく社会構造や政治的要因にも大きく左右されているのが現実です。「国際協力論」では、こうした開発途上国の経済社会・政治の現状と課題をふまえて、国際社会や途上国の国づくりへの日本の関与の仕方について考えます。また、「海外特別研修」では学生自らが実際に途上国に赴き、人々の生活の実態を肌で感じることを目指します。



現代経済学科

生活環境経済学科

国際経済学科